

作曲家のエピソードを交え、音楽の仕組みを分かりやすく解き明かす
愉しく、学べるコンサート

高橋 舞トークコンサートはプロジェクターを使用した解説付きのコンサートです。
第8回はフランス近代の作曲家モーリス・ラヴェルを中心に、作品の秘密に迫ります。

“印象主義音楽”の幕開けとなったラヴェルの記念碑的作品「水の戯れ」と
そのインスピレーションの元となったリストの「エステ荘の噴水」を演奏します。

第8回 2013年11月20日（水）

ラヴェル：ソナチネ

リスト：《巡礼の年》第3年より 「エステ荘の噴水」

ラヴェル：水の戯れ

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

高橋 舞 piano & talk

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。オーストリア国立モーツァルテウム音楽大学大学院修士課程ピアノ演奏科修了、「マギスター・デア・キュンステ」の称号を得る。バッハに関する修士論文は最高の評価を獲得。ウィーン国立音楽大学にてチェンバロをインゴマー・ライナー氏に師事。ザルツブルク・スタインウェイ・ホールにてソロリサイタルを開催。イタリア、トリエステにおけるステファノ・マリツァ国際ピアノコンクール第2位入賞。入賞者演奏会の模様はイタリアにてテレビ放映される。2006年のモーツァルト・イヤーにはザルツブルガー・ゾリステンとモーツァルトのピアノ協奏曲第12番 K.414 を共演。ザルツブルクのミラベル宮殿マルモア・ザールにてイェルク・デームス氏と共演する。フロレンターノ・ロッソマンディ国際ピアノコンクール入賞。銀座王子ホールでのピアノ・リサイタルを皮切りに、ソロ・室内楽・歌曲伴奏の分野で活動。王子ホールでのリサイタルは、「ムジカノーヴァ」、「音楽現代」にて好評を得る。これまでにイタリア、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、クロアチアにおいて演奏会を行う。ライフワークとしてテーマを持ったレクチャー・コンサートを行い、毎回評判を呼ぶ。これまでにすぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業として2008年には作曲家シリーズ第1回「音楽と映像でたどるシューベルト～シューベルトの手紙とともに味わう歌曲・ピアノ曲の世界～」を、2009年に第2回「生誕200年記念メンデルスゾーン 飛翔するロマン～メンデルスゾーン姉弟、歌そして無言歌に込められた想い～」、そして2010年には3回シリーズの「名曲で楽しむ！音楽史の旅～高橋 舞が紹介するクラシック音楽の名曲&作曲家たちの知られざるエピソード～」を開催し、好評を博す。2009年より桐朋教育研究所主催の桐朋講座にて講師を務める。2013年より代官山ヒルサイドクラブにて「Mai Classicmusic Seminar」の講師を務める。幅広い知識を活かして“豊かなクラシック音楽”の世界を発信する、今注目のピアニスト。公式サイト <http://mai-takahashi.com/>

